

私立大学情報教育協会  
平成29年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

E-1班・健康ミネラル

# 発表テーマ

集めて・育てて・送り出す  
～大学の質保証～

## テーマ選定理由(1) 大学の役割

### 私たちが考えた大学の役割

各大学の建学の精神に基づく教育に加えて、時代に合った社会が求める人材を育成することが必要である。

⇒大学独自のVISION(建学の精神)に「社会から求められる人材像」を加えた教育を展開し、新たな社会に担う人材を輩出する

### 役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

- 上での大学の役割について社会・高校生にわかりやすく発信していく（企業に対して輩出する学生の質保証、入学後のミスマッチ防止など）
- 社会が求める人材を育成するための仕組みを実際に教員が行う授業等にも導入する
- 「教育の成果」の点検・評価をする体制を構築する

## テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

- 建学の精神に基づき学生を育成するが、卒業後の学生に対しての効果が測定できていない。
- 社会や高校生に対して、わかりやすく情報発信ができていない。

⇒**広報の失敗、入学前と入学後のミスマッチがある。**

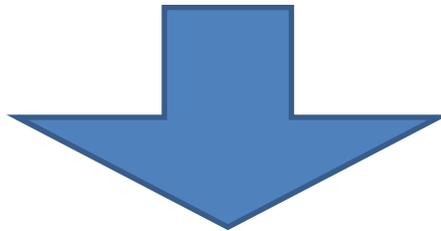
役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- 高校生とその保護者のニーズ調査のため高校教員の情報共有の場を設ける（高大接続）
- 「教育の成果」の点検・評価のために卒業後の追跡や企業へのアンケートの実施。
- 社会のニーズ調査結果を学内の教職員へ情報共有し、教職協働でサービスを提供する（学生支援、教員が行う授業など）

## テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えるか？

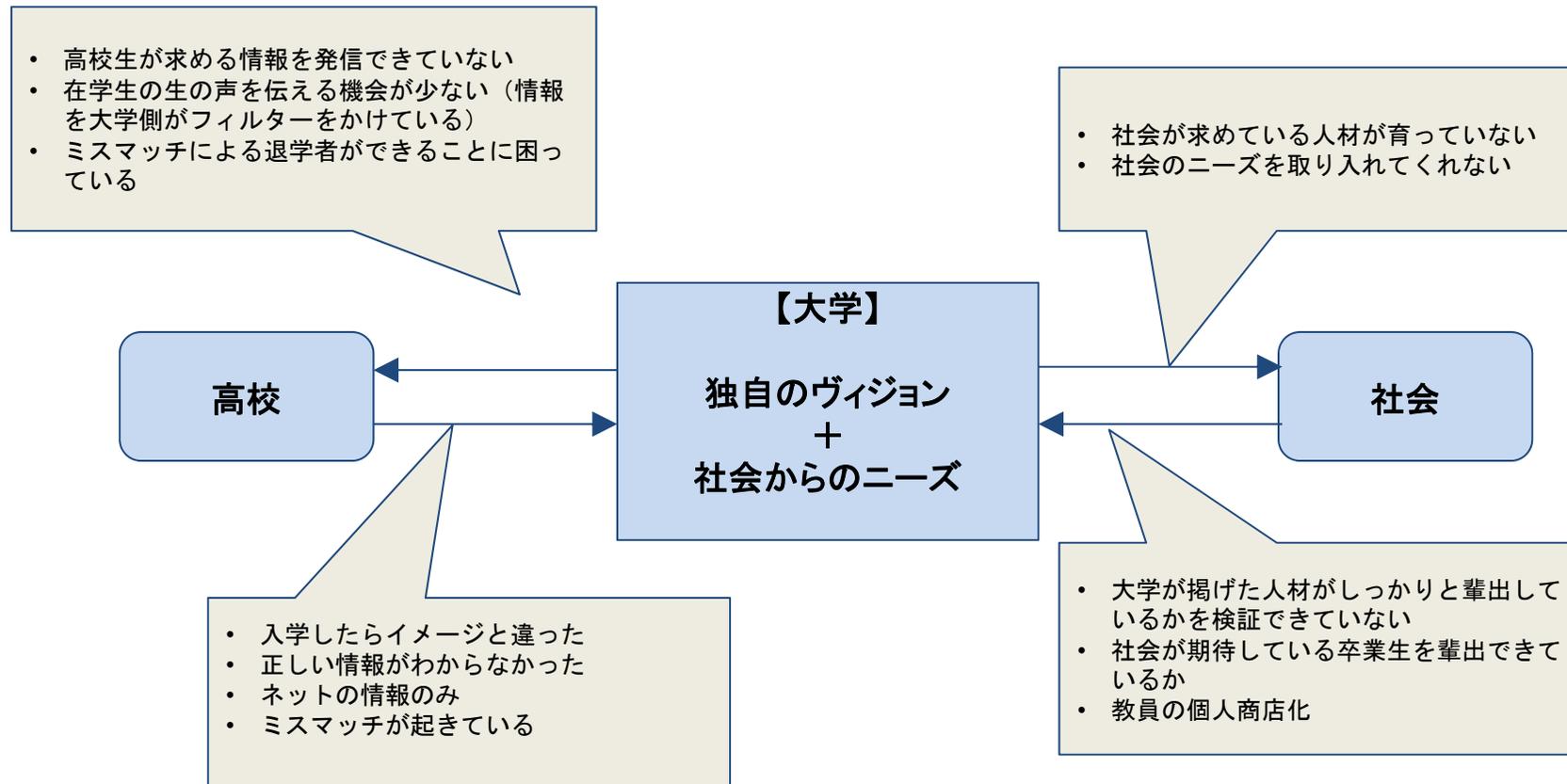
- ・ 志願者がニーズに合った大学を正しく選ぶための情報提供
- ・ ディプロマポリシーに加え社会が求める人材を育成する
- ・ 社会に貢献する人材を輩出する
- ・ 大学の質とは「大学独自のVISION(建学の精神)」と「社会からの求められていること」をいかに達成するかが必要。



集めて・育てて・送り出す  
～大学の質保証～

## 問題点の深堀

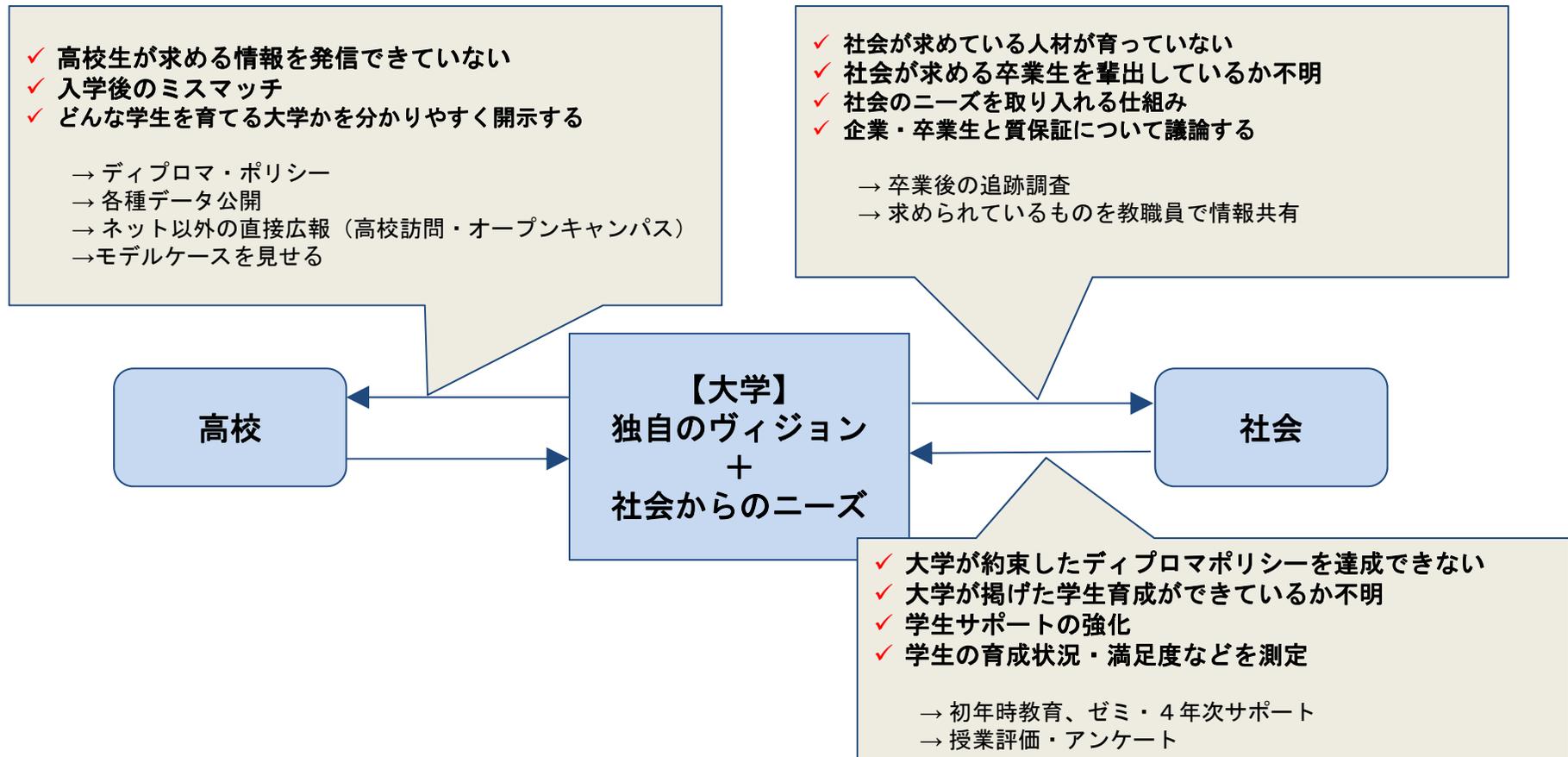
他グループと問題点を共有するために、グループ討議で話し合われたことを列挙する。



# 集めて・育てて・送り出す～大学の質保証～

## 解決策の検討

他グループと、解決策が導き出されたプロセスや、背景にある考え方を共有するために、グループ討議で話し合われたことを整理して記載する。



# 大学のイノベーションの提案

## 【提案の概要】

ICT活用による高校生・大学・社会間の情報連携強化

## 【何を問題として捉えたか】

高校生の求めるもの・大学の提供するもの・社会の期待するもの間のミスマッチ

## 【これを実現するために、どのようなアプローチが必要か】

→ 大学としての取り組み

- To 高校生：講義配信(直接情報交換できる機会の増加)
- To 社会：オンラインアンケート(在学生・OBOGからの情報収集)
- To 教職員：集めたデータや分析結果を学内で共有し、改善に活かす

→ 解決策実現のためのハードルと、その打開策

- 提供したICTが十分活用されない可能性→収集しっぱなしではなくフィードバックを活発に行い、その結果も学内外に発信していく。

## 【ミスマッチが解決されたときの姿】 次図参照

# 大学のイノベーションの提案

